バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023 大阪市生野区林寺6-7-22

菓子・食品・パン関連資材専門紙　流通記者会加盟紙

菓業食品新聞

The Journal of confectionery

URL：http://okashi.info　e-mail：okashi@nespe.com

令和2年　6月22日（月曜日）
（毎月12、22日発行）第2233号
昭和41年7月2日第3種郵便物認可

発行所　〒553-0003 大阪市福島区福島 1-2-12-605
TEL 06(6458)2045 FAX06(6458)6520
株式会社 菓業食品新聞社
支社・京都
発行人　狩野　智子　　一カ年　8,400円

全国スーパーマーケット協会

スーパー4月売上、大幅上昇

現状判断DI53・9（前月＋3・4）

キーワードは「在宅時間増加」

（一社）全国スーパーマーケット協会発表の4月実績（全国スーパー167社）によると、4月のスーパーマーケット中核店舗の景気判断において、現状判断は、前月から＋3・4の53・9、見通し判断は前月から＋1・4の38・7となり、共に小幅に改善した。4月のキーワードのトップ3は「在宅時間増加による需要の拡大」、「家庭内調理機会の増加」、「買物頻度抑制による保存可能食品の需要拡大」だった。

経営動向調査では、売上高、収益は大幅な上昇となり、DIは共に20台を記録した。買物頻度の抑制により来客数は低下したものの、小中高一斉休校や在宅勤務の増加などで内食需要が高まり、客単価は大幅な上昇をみせた。

カテゴリー動向調査では、行楽や行事の中止、バラ売り販売の自粛の影響があった惣菜カテゴリーのみがマイナスとなり、それ以外のカテゴリーは二桁のプラス値となった。なかでも買い置きが可能なカテゴリー、生鮮品では青果や畜産、日配や一般食品カテゴリーの数値が大きくなった。在宅時間の増加により、家庭用品への需要も高まっており、非食品も引き続き高水準を記録した。

景況感調査は、景気判断や消費者購買意欲の現状判断では引き続き改善がみられ、特に消費者購買意欲は69・1を記録した。

しかしその一方、店舗周辺地域景気判断は小幅な悪化が続くなど先行きへの不安は継続している。4月期は緊急事態宣言が発令され外出自粛が続くなか、混雑の緩和など消費者への感染拡大防止の対策だけでなく、従業員の安全にも配慮し、食品供給を支えた食のライフラインとしての役割を果たした期間となった。現在感染の拡大は一旦ピークを過ぎつつあるが、今後も感染拡大防止と自粛解除後の消費者行動や食品ニーズに応える役割への期待は大きい。

家庭内消費需要 急増で欠品発生

カテゴリー別の動向で、2～3カ月前と比較した現状について、「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階別の調査をしたところ、一般食品については、一斉に休校や在宅勤務により家庭内消費需要が大幅に増加し、かなり好調となった。日持ちする食品として（米、袋麺やカップ麺、レトルト食品、パスタやパスタソース、乾麺・めんつゆ、シリアル、菓子、缶詰）、家庭内での調理用粉物（ホットケーキやお好み焼きなど）や調味料など、ほぼすべてのカテゴリーで非常に好調に推移し、需要の急増により一部商品には、品薄や欠品により機会ロスが発生した。酒類は、行楽需要は減ったものの「家飲み」需要の高まりにより伸びており、チューハイ、サワー類、ワインなどが好調となった。反面、行楽需要の減少や休校の影響による弁当材料向けの食材、外出時の購入機会が多いガム・タブレット類などは動きが悪かった。

雇調助成金増額 4月から遡及適応

6月12日に成立した第二次補正予算で、コロナ禍への事業者向け支援策が強化された。

休業手当を国が助成する、雇用調整助成金は、適用期間が9月30日まで3カ月延長された上、助成額が大幅に上がった。①助成金の上限83,300円→1万5000円（1人1日あたり）②助成率（解雇を行っていない中小企業）90%→100%。

すでに申請・受給した事業者にも、4月1日分から遡及適応され、その分を新たに申請しなくても労働局で追加支給分を計算し、支給する。

ただし、過去の休業手当を見直して労働者に対し追加支給する場合には、手続きが必要となる。1人1日あたり）②助成を参考のこと。

4面　正氣屋会書面総会
3面　大生菓青年ク献菓式
7・8面　八橋検校を偲ぶ

2020年4月　売上高

かなり改善＋0.5・やや改善＋0.25・変わらない±0・やや悪化－0.25・かなり悪化－0.5
※すべて「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

回答構成比（%）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	5.5	11.5	13.7	41.5	27.9	18.7
売上高（当月）	8.1	8.1	6.8	36.5	40.5	23.3

現状判断

かなり改善＋1.0・やや改善＋0.75・変わらない＋0.5・やや悪化＋0.25・かなり悪化＋0 ※すべてが「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

	景気判断DI	消費者購買意欲DI	周辺地域競合状況DI	店舗周辺地域景気判断DI
当月	53.9(+3.4)	69.1(+2.1)	47.0(+2.4)	37.7(-1.8)
前月	50.5	67	44.6	39.5

見通し判断

	景気判断DI	消費者購買意欲DI	周辺地域競合状況DI	店舗周辺地域景気判断DI
当月	38.7(+1.4)	49.7(-3.4)	43.6(+1.0)	31.8(-0.8)
前月	37.3	53.1	42.6	32.6

一般食品動向調査

かなり好調：～20 好調：20～10 やや好調：10～0　やや不調：0～-10
不調：-10～-20 かなり不調：-20～

回答構成比（%）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	0.6	8.1	10.4	38.7	42.2	28.5
一般食品（当月）	3.4	4.8	12.3	33.6	45.9	28.4